

平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月2日

上場会社名 株式会社ミライト・ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 1417 URL <http://www.mirait.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 正俊
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 桐山 学 (TEL) 03-6807-3124
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|---------|------|-------|-------|-------|-------|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年3月期第3四半期 | 206,602 | 20.4 | 8,653 | 592.0 | 9,664 | 545.3 | 5,800 | — |
| 29年3月期第3四半期 | 171,584 | △0.7 | 1,250 | — | 1,497 | 198.4 | 298 | — |

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 7,719百万円(—%) 29年3月期第3四半期 △1,015百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期第3四半期 | 73.33 | 63.53 |
| 29年3月期第3四半期 | 3.67 | 3.19 |

(注) 平成30年3月期第3四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益の対前年同四半期増減率は1,000%を超えるため「—」と記載しています。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|---------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 30年3月期第3四半期 | 216,611 | 134,214 | 60.3 |
| 29年3月期 | 218,053 | 128,837 | 56.9 |

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 130,693百万円 29年3月期 124,132百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期 | — | 15.00 | — | 15.00 | 30.00 |
| 30年3月期 | — | 15.00 | — | — | — |
| 30年3月期(予想) | — | — | — | 15.00 | 30.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-----|--------|------|--------|------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 310,000 | 9.4 | 12,500 | 24.2 | 13,000 | 22.7 | 8,000 | 24.3 | 101.22 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

除外 1社 (社名) Mirait Singapore Pte. Ltd.

(注) 詳細は添付資料3ページ「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご参照ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 30年3月期3Q | 85,381,866株 | 29年3月期 | 85,381,866株 |
| 30年3月期3Q | 6,185,774株 | 29年3月期 | 6,343,431株 |
| 30年3月期3Q | 79,093,841株 | 29年3月期3Q | 81,180,054株 |

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 当社は、取締役及び執行役員に対する業績連動型株式報酬制度「株式給付信託」を導入しており、当該信託口が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況」をご参照ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|------|
| 1. 経営成績等の概況 | P. 2 |
| (1) 当四半期決算の経営成績の概況 | P. 2 |
| (2) 当四半期決算の財政状態の概況 | P. 2 |
| (3) 今後の見通し | P. 3 |
| 2. サマリー情報（その他）に関する事項 | P. 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | P. 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | P. 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | P. 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | P. 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | P. 4 |
| (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 | P. 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | P. 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | P. 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | P. 8 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期決算の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済については、米国政権の政策動向や世界的な政治情勢の不安定さなど懸念される要素はあったものの、企業収益や設備投資の増加、雇用環境の改善により緩やかな回復基調が継続しました。

情報通信分野においては、固定通信分野では光コラボレーションモデルが普及し、移動体通信分野では第4世代移動通信システム(4G)の高度化や、新たな周波数帯でのサービスが開始されています。加えて、本格的なIoT時代の到来に向けて、クラウド、センサー、オフィスソリューション等におけるビッグデータや人工知能(AI)を活用した新たなソリューションに対する需要の高まりや、2020年に向けた社会インフラの再構築など、当社グループを取り巻く事業環境は大きく変化しております。

当社グループは、このような社会構造、通信環境の変化に対応し「総合エンジニアリング&サービス会社」として企業価値の向上と持続的な成長を図るため、今年度をスタートとする4ヶ年の新中期経営計画(2020年度目標:売上高3,400億円、営業利益170億円、ROE8%以上)を策定し、事業領域の拡大、ビジネスモデルの変革、利益重視の事業運営を推進しております。

当第3四半期においては、4Gの高度化及び新周波数帯工事の本格化に伴うモバイル工事や700MHzTV受信障害対策工事の増加に加え、光コラボレーションの普及に伴う光開通工事の増加に継続して取り組むとともに、太陽光発電設備工事や土木・管路工事等の増加により受注・売上を拡大しました。また、平成29年10月よりドローンビジネスを本格展開するなど、中長期的な視点に立った新規事業領域の開拓にも積極的に取り組みました。

一方で、グループ事業運営体制の強化を図るため、北海道、東北地域におけるモバイル工事強化を目的とした㈱日進通工の完全子会社化や、㈱ミライト情報システムとMIS九州㈱の合併による効率化等を行いました。

以上の結果、当第3四半期の連結業績につきましては、受注高は2,460億6千8百万円(前年同四半期比6.1%増)、売上高は2,066億2百万円(前年同四半期比20.4%増)、営業利益は86億5千3百万円(前年同四半期比592.0%増)、経常利益は96億6千4百万円(前年同四半期比545.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は58億円(前年同四半期比55億1百万円増)と大幅な増収増益となりました。

(2) 当四半期決算の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、未成工事支出金等が増加したものの、完成工事未収入金等の売掛債権が減少したことにより、前連結会計年度末と比べて14億4千2百万円減少し2,166億1千1百万円となりました。

負債は、未成工事受入金が増加したものの、工事未払金等が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ68億2千万円減少し823億9千6百万円となりました。

純資産は、配当金の支払いがあったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益58億円の計上等があったことにより、前連結会計年度末に比べ53億7千7百万円増加し1,342億1千4百万円となりました。

この結果、自己資本比率は60.3%(前連結会計年度末は56.9%)となりました。

(3) 今後の見通し

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年4月28日に公表しました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

特定子会社であったMirait Singapore Pte.Ltd.は、同じく特定子会社であるLantrovision(S)Ltdに吸収合併され消滅いたしました。そのため、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用の算定については、当第3四半期連結会計期間を含む当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

また、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を用いた計算をしております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 34,550 | 28,028 |
| 受取手形・完成工事未収入金等 | 91,623 | 63,296 |
| 有価証券 | — | 6,999 |
| 未成工事支出金等 | 17,607 | 34,261 |
| 繰延税金資産 | 2,671 | 2,727 |
| その他 | 4,915 | 7,315 |
| 貸倒引当金 | △45 | △5 |
| 流動資産合計 | 151,323 | 142,624 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物・構築物(純額) | 10,835 | 11,255 |
| 土地 | 18,643 | 18,632 |
| 建設仮勘定 | 2,387 | 7,125 |
| その他(純額) | 2,743 | 3,583 |
| 有形固定資産合計 | 34,609 | 40,597 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 3,137 | 3,128 |
| 顧客関連資産 | 2,289 | 2,266 |
| ソフトウェア | 1,454 | 1,115 |
| その他 | 82 | 65 |
| 無形固定資産合計 | 6,963 | 6,576 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 20,865 | 22,829 |
| 退職給付に係る資産 | 746 | 781 |
| 繰延税金資産 | 731 | 479 |
| 敷金及び保証金 | 1,272 | 1,234 |
| その他 | 1,664 | 1,630 |
| 貸倒引当金 | △122 | △142 |
| 投資その他の資産合計 | 25,157 | 26,813 |
| 固定資産合計 | 66,730 | 73,986 |
| 資産合計 | 218,053 | 216,611 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形・工事未払金等 | 40,772 | 30,451 |
| 短期借入金 | 710 | — |
| 未払法人税等 | 1,023 | 2,658 |
| 未成工事受入金 | 3,774 | 8,297 |
| 工事損失引当金 | 800 | 650 |
| 賞与引当金 | 4,228 | 2,388 |
| 役員賞与引当金 | 70 | 47 |
| 完成工事補償引当金 | 4 | 6 |
| その他 | 7,727 | 6,917 |
| 流動負債合計 | 59,112 | 51,417 |
| 固定負債 | | |
| 転換社債型新株予約権付社債 | 16,577 | 16,564 |
| 長期未払金 | 607 | 375 |
| 繰延税金負債 | 3,556 | 4,017 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 41 | 41 |
| 役員退職慰労引当金 | 70 | 70 |
| 株式報酬引当金 | 52 | 99 |
| 退職給付に係る負債 | 8,444 | 8,528 |
| 資産除去債務 | 76 | 95 |
| その他 | 677 | 1,185 |
| 固定負債合計 | 30,104 | 30,978 |
| 負債合計 | 89,216 | 82,396 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 7,000 | 7,000 |
| 資本剰余金 | 26,043 | 27,318 |
| 利益剰余金 | 92,679 | 96,077 |
| 自己株式 | △5,299 | △5,168 |
| 株主資本合計 | 120,423 | 125,227 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,161 | 5,519 |
| 土地再評価差額金 | △98 | △98 |
| 為替換算調整勘定 | △409 | △16 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 56 | 62 |
| その他の包括利益累計額合計 | 3,709 | 5,466 |
| 非支配株主持分 | 4,704 | 3,521 |
| 純資産合計 | 128,837 | 134,214 |
| 負債純資産合計 | 218,053 | 216,611 |

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 完成工事高 | 171,584 | 206,602 |
| 完成工事原価 | 153,173 | 180,710 |
| 完成工事総利益 | 18,410 | 25,891 |
| 販売費及び一般管理費 | 17,159 | 17,237 |
| 営業利益 | 1,250 | 8,653 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 57 | 61 |
| 受取配当金 | 447 | 504 |
| 保険解約返戻金 | 22 | 154 |
| 持分法による投資利益 | 80 | 197 |
| その他 | 104 | 162 |
| 営業外収益合計 | 712 | 1,081 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 43 | 12 |
| 為替差損 | 100 | 21 |
| 支払手数料 | 257 | — |
| その他 | 64 | 36 |
| 営業外費用合計 | 465 | 70 |
| 経常利益 | 1,497 | 9,664 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 3 | 2 |
| 投資有価証券売却益 | 4 | 17 |
| 段階取得に係る差益 | 49 | — |
| その他 | 9 | — |
| 特別利益合計 | 66 | 20 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 4 | 65 |
| 固定資産除却損 | 90 | 24 |
| 訴訟関連費用 | 50 | — |
| その他 | 138 | 170 |
| 特別損失合計 | 283 | 261 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,281 | 9,423 |
| 法人税等 | 936 | 3,469 |
| 四半期純利益 | 345 | 5,954 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 298 | 5,800 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 46 | 154 |

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日) |
|------------------|--|--|
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 480 | 1,361 |
| 繰延ヘッジ損益 | △65 | — |
| 土地再評価差額金 | △0 | — |
| 為替換算調整勘定 | △1,726 | 415 |
| 退職給付に係る調整額 | 0 | 6 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △48 | △17 |
| その他の包括利益合計 | △1,360 | 1,765 |
| 四半期包括利益 | △1,015 | 7,719 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △1,051 | 7,557 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 36 | 162 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。